

Thank you! 40th Anniversary!

山のはちみつ屋新聞

NO.45 夏号 2017年6月

発行 有限会社ビー・スクワッド

あつい。

ごあいさつ

日差しがSUN SUN ぷりぷり

湖面がキラキラ輝きます
暑さも青空も... すっかり夏らしくなりました♡

みなさま、お元気でお過ごしですか？

ついに帰ってきた!!

おかえりなさいクニマスたち!

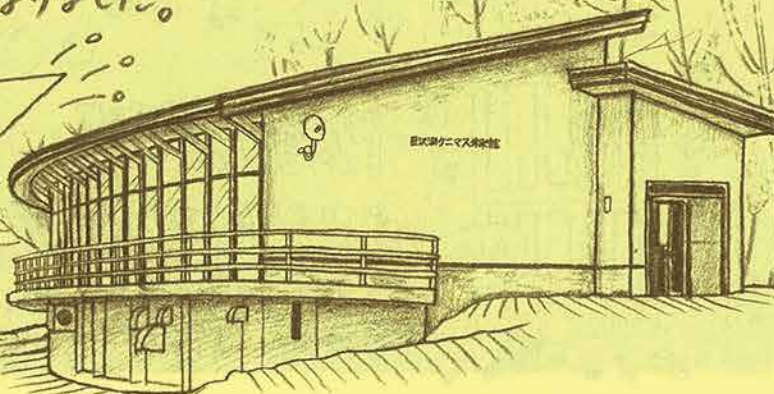
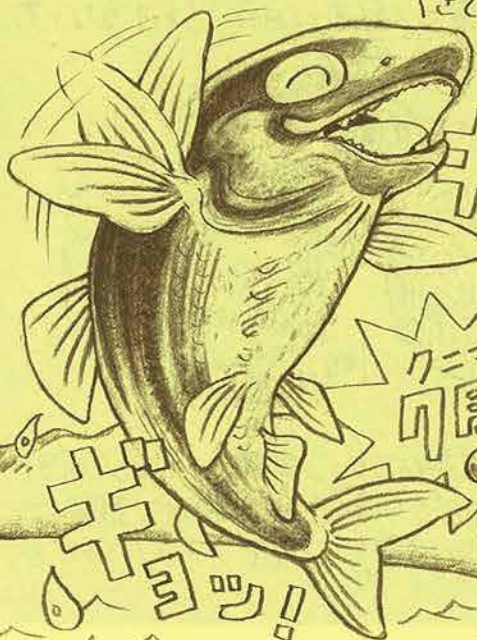
山梨県西湖からふるさと田沢湖へ

秋田県仙北市・田沢湖の固有種「クニマス」。一度はレッドリストで絶滅種に指定された魚が再発見されたのは、環境省によると今回が初めてなのだとか...。そんな奇跡の魚「クニマス」が70年ぶりに西湖で発見されてから7年。いよいよ今年クニマスたちが田沢湖へとやってきます!!

5月に北秋田市の研究所で地元の水にならせたあと、6月中旬にここ、田沢湖に新設された『田沢湖クニマス未来館』におひっこし。かつて田沢湖に住んでいたクニマスの生態の情報や当時使われていた漁具、動物標本関係で初めて国の『登録記念物』に指定され、世界にも17体しかない貴重な標本などを展示するほか、田沢湖の歴史を通じて環境保全の大切さを伝え、発信していく施設です。

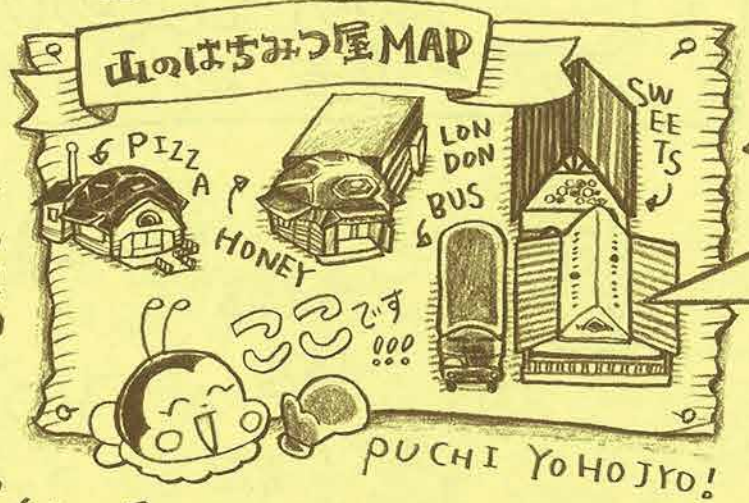
山のはちみつ屋のパートナーであるみつばちたちも、自然環境の悪化や農薬などにより、全国的に年々数が減少しています。この『田沢湖クニマス未来館』だけでなく、私たちがまたお店やイベントなどを通してみつばちたちについてお伝えしていきたい!と決意を新たにすき、かけになりました。

クニマス未来館は
7月OPEN!



山のはちみつ屋 NEWSスポット! みつはち養蜂場ができました!!

蜂五郎こと西村社長がずっと前から思い描いていたこと... みつはち屋として、みなさんへみつはちやはちみつのことを知っていただく機会をもっとつくりたい...! 自然の中を自由に飛んでいる姿を直接みなさんにも見てもらい、彼女たちの生活や私たちはちみつ屋の仕事をより身近に感じてもらうために... そんな夢を形に、今年の4月頃秋田にやってきたみつはちたちを迎えながらこの小さな養蜂場が完成しました。



今季も数の少ないみつはちですが、私たち山のはちみつ屋にとっては本当に大事な働き手です。だからこそ蜂五郎はこの貴重な姿をどなたでも自由に見られるようにしたかったんです。ぜひお店に遊びにいっしょだった際は、彼女たちの働きぶりをのぞいてみてくださいね。

養蜂の
プロもあじろき!

みつはちたちのスゴイところ!!

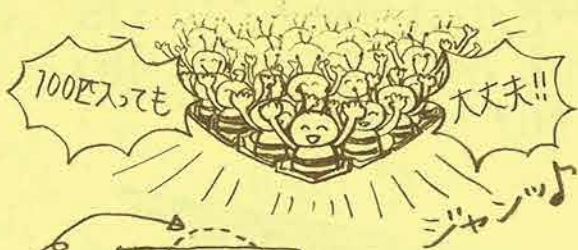
それにしても... お客様とお話をする中で、やはりまだまだ知られていないこと (養蜂歴40年以上の蜂五郎でさえも、改めてスゴイ!! と感心してしまう...)

みつはちは優秀な建築家!!

みなさんご存知の六角形。蜂の巣の壁はみつはちが分泌するロウ分「ミツロウ」や唾液で作られていて、この六角形がずらりと並んだつくりを「ハニカム構造」といいます。蜂五郎いわく、巣として頑丈でかつ材料が少なく済むのがこの構造なんだとか...!

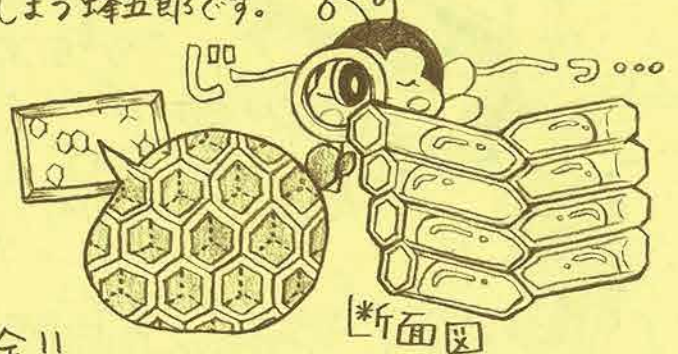
なんと自分たちの触覚や足で寸法をはかり正確にこの形を作っているのはちの建築士としての腕も大したものですよ。

建築関係
トットト



ただの六角形じゃない...?!

しかもみつはちの住んでいる巣穴真ん中でくざられているのですが、実は裏表で六角が互い違いになっておりより丈夫になるようにみつはちたちが自分たちで作っているからおさまげ...! さらににはその真ん中に向かってビヨ〜にななめに下がっているの、中からはちみつや花粉や子どもが落ちないようにしてあるんです...! これには改めて驚かされるなあと、思わずうなづいてしまう蜂五郎です。



防犯対策も万全!!

みつはちたちのおうち・巣箱は木造2階建て。大事なものは全部上へと運びます。食料のはちみつの間の、あたたかいところに一番大切な子供を住ませ、1階に花粉を貯め込みます。入口にはしっかり門番もいるので、アリやスズメバチなどの外敵に対する防犯意識もばっちりです!

お菓子工房テラス

のところ!



みんきて
けれな!

はちみつスイーツと
コーヒーを楽しみながら
見ることもできますよ!



が沢山あるみつばち。驚きの習性や行動は話し出せばキリがないのですが、そんな中で
とっておきのアレやコレをピックアップしてご紹介しちゃいます!!

巣の中で1番偉いのは??

女王というぐらいだから女王蜂!と思われる
かもしれませんが、実際は女王蜂をコントロール
しているのは働き蜂なんです。

子どもが少なくなると、はちみつが足りないとき...
その状況に応じて巣の中をキレイにして子どもを
産んでもらう場所をついたり、はちみつを貯める
場所を用意するのは全て働き蜂次第。

例えばはちみつが足りないときに子どもを増や
しても食料が間に合わなくなってしまうので、女王
蜂が子どもを産まないよう働き蜂たちが様子
を見ながら巣の部屋割りを決めたりするようです。
蜂五郎はよくこれを『蜂たちで話し合いが
できている』と言っています。



そして話し合いに参加します!!

さらにその働き蜂をうまくコントロールするのがみつば
ち屋の仕事なんだ!と蜂五郎は言います。
(みつばちのスゴイとこ!に張り合うようですが...笑)

花が咲く前の採蜜準備として、働き手となる子どもを
産んでもらうためには赤ちゃん蜂のベッドに合う清潔
でキレイな空巣を巣箱の中に入れる。
寒いときには巣板の間隔をせばめ、数を調整して
あたたかとする...など、蜂五郎もまた自分の子どもの
ように大切に心と目を配っては、みつばちたちの住む
部屋の環境を整えて手をかけています。そしてその思い
にちゃ〜んと応えてくれるから、やっぱりみつばちって



今年もおいしいはちみつ集めてけれな。
と、みつばちたちに語りかける蜂五郎です。

はちみつだけじゃないんです! こんな活用法があるアカシヤ!

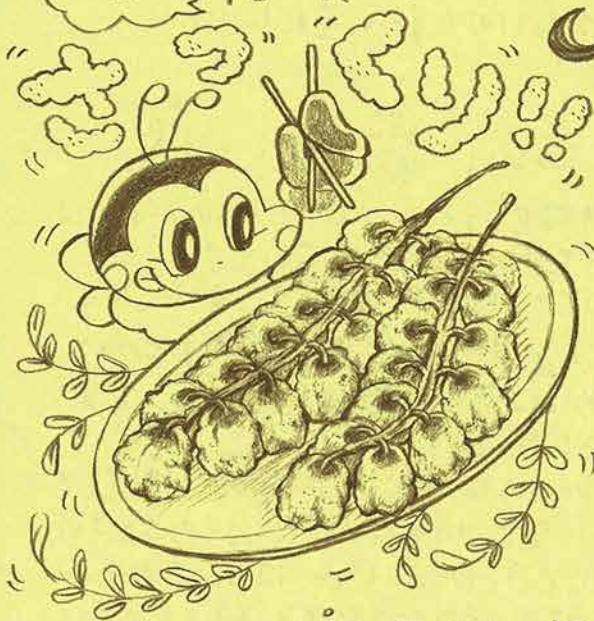
アカシヤの葉あそびの うずらのたまご

アカシヤの葉っぱを使い、2人以上で遊ぶゲーム!
自分の中でコレ!という葉っぱを1枚選んだらちょっとだけちぎって目印を付けます。スタート地点の葉っぱから川原にう・ず・ら・の・た・ま・ごといいながら『ご』にあたった葉を1枚ずつ落としていき、最後まで自分の決めた葉っぱが残っていたら勝ち!!



なんと花も食べられる?!

アカシヤの花の天ぷら



あるときお店の近くに咲くアカシヤの花を1房摘んで持ってきた蜂五郎。「これ家さ持ってって天ぷらにしてみれ! うまいぞ!」綺麗に咲いていたので食べる用?!と最初はびっくりしましたがいざ言われた通りに揚げてみると…。これが何とも石畳かに美味しかった!! アカシヤの花の優しい香りとかく柔らかな後味がふんわり口の中にたがったのです。

それこそアカシヤの咲く地域の人によく食べていたという話を聞きました。花が咲いているわずかな間だけの初夏の味覚…。はちみつ以外にもすすきな楽しみ方がいろいろあることを学びました! ♪

最後まで読んでくださり、ありがとうございました! ♪

山のはちみつ屋新聞45号はいかがでしたか?実は今年8月、お店ではすっかりおなじみの『ロンドンバス』がはちみつ屋にやってきました10年目になります! Thank you
ご来店のお客様が記念撮影をしたり、車内でお菓子を食べながらゆっくりしていっぱい楽しませてもらっているのだから嬉しすぎるくらいです。 10th Anniversary



編集後記

小さな養蜂場のほかに、ずっと前から『田沢湖に1周ぐりと桜を植えたい』という夢がありました。それがこの度、ご縁のある昔はなし大学の小澤先生のお心添えもあって、まずは思い出の渦分校そして田沢湖クニマス未来館への植樹が決まりました。周辺の土地は国のものや私有地で実現させるのは中々大変なのですが、小さな木が長い時間をかけて大きくなるように、いつか地元の観光資源として広がることを願っています。 蜂五郎